

## 北琉球語喜界島方言の授与動詞

荻野千砂子

北琉球語の鹿児島県大島郡喜界島方言の授与を表す動詞の体系を明らかにすることを第一の目的とした。調査地点は、<sup>かみかてつ</sup>上嘉鉄、<sup>なかも</sup>中間、<sup>さかみね</sup>坂嶺、<sup>しとおけ</sup>志戸桶、<sup>おのつ</sup>小野津の五集落である。授与動詞とは、一人称から遠心方向へ物が所有権と共に移動することを表す動詞とする。授与動詞ヤツタに相当する語には非敬語形の k'uri-taN があり、敬語形には agi-taN と weesi-taN がある。weesi-taN は共通語サシアゲタに相当する。補語を高く位置づける機能を持ち、「主語<補語」で用いられる。しかし、(1) のように「主語>補語」の関係での使用が許容されることがある（用例は上嘉鉄方言）。そこで、weesi-taN の機能を明らかにすることを第二の目的とした。

- (1) cizi//nu waNnaa uzii//eN hanataba weesi-taN//doo.  
 知事//主格 私達の おじ//与格 花束 サシアゲル-過去//終助詞  
 知事がおじに花束を\*サシアゲタ。（\*は共通語で非文法的であることを表す）

調査の結果、k'uri-taN は話し手より主語と補語が下位者のときと、上位者主語でも「主語>補語」のときに使用され、agi-taN は「主語<補語」と「上位者主語=上位者補語」で使用されることが分かった。agi-taN は中間と坂嶺で用いられる。weesi-taN は補語を高く位置づける機能を持つが、「上位者主語=上位者補語」の場合も用いられ、「上位者主語>上位者補語」の場合でも「上位者主語=上位者補語」とみなし許容する。よって、主語を軽度にも高める「主語恭敬機能」があると言える。他にも「授与方向優先の機能」を持ち、「話し手≧補語」で「下位者主語→上位者補語」が許容される。さらに敬語上の I 人称がなく、一人称複数補語の場合に「下位者主語→一人称複数補語」が許容される「上位者優先のルール」を持つ。これらの特徴は、南琉球の石垣宮良方言の ujoohuN (サシアゲル) と共通する。だが weesiiN は「ご先祖に供物を供える」意味が第一義であり、日常の物の授与では使用できない等、異なる点もある。